



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場会社名 第一実業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8059 URL http://www.djk.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山片 康司  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 秀樹 (TEL) (03) 6370-8697  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	116,104	37.5	4,120	101.6	4,247	82.8	2,506	86.0
28年3月期第3四半期	84,458	△18.2	2,044	△5.9	2,323	△4.6	1,347	△12.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 2,328百万円(86.5%) 28年3月期第3四半期 1,248百万円(△42.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	46.84	46.64
28年3月期第3四半期	25.16	25.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	119,594	37,386	31.2
28年3月期	94,767	36,006	37.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 37,283百万円 28年3月期 35,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
29年3月期	—	9.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	20.8	4,500	15.8	4,900	11.9	2,900	9.9	54.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期3Q	55,432,000株	28年3月期	55,432,000株
29年3月期3Q	2,187,795株	28年3月期	1,779,005株
29年3月期3Q	53,508,738株	28年3月期3Q	53,557,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策の効果により企業業績や雇用・所得環境に改善傾向が見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、原油価格の下落は回復しつつあるものの、一部の国・地域における地政学的リスクの顕在化、英国のEU離脱問題、中国や新興国経済の減速など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、海外向け石油プラントやエチレンプラント用設備等の大口案件の売上計上があり、またITおよびデジタル関連機器製造会社向けの電子部品製造関連設備等の販売が好調に推移したため、当第3四半期連結累計期間の売上高は前第3四半期連結累計期間と比べて31,646百万円増加の116,104百万円(前年同期比37.5%増)となりました。また、営業利益は2,076百万円増加の4,120百万円(前年同期比101.6%増)、経常利益は1,924百万円増加の4,247百万円(前年同期比82.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,158百万円増加の2,506百万円(前年同期比86.0%増)となりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## プラント・エネルギー事業

大手エンジニアリング会社経由の海外向け石油プラントやエチレンプラント用設備、また化学会社向け樹脂製造プラント用設備等の既受注大口案件の売上計上があったため、売上高は17,862百万円増加の37,254百万円(前年同期比92.1%増)、セグメント利益(営業利益)は1,182百万円増加の885百万円となりました。

## 産業機械事業

自動車関連業界向けの自動組立ライン、自動加工機、塗装ライン等の売上が増加し、また家電・自動車部品製造の射出成形機および周辺機器等の需要も堅調であったため、売上高は2,306百万円増加の31,653百万円(前年同期比7.9%増)、セグメント利益(営業利益)は83百万円増加の897百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

## エレクトロニクス事業

ITおよびデジタル関連機器製造会社向けの電子部品製造関連設備等の販売が好調に推移したため、売上高は8,534百万円増加の37,996百万円(前年同期比29.0%増)、セグメント利益(営業利益)は410百万円増加の1,342百万円(前年同期比44.0%増)となりました。

## ファーマ事業

ジェネリック医薬品製造会社向けを中心に錠剤外観検査装置やパッケージング用機器・装置等の販売が好調であったため、売上高は1,920百万円増加の6,336百万円(前年同期比43.5%増)、セグメント利益(営業利益)は52百万円増加の576百万円(前年同期比10.0%増)となりました。

## 航空事業

航空機地上支援機材および空港施設関連機器等の売上が大幅に増加したため、売上高は1,157百万円増加の2,735百万円(前年同期比73.4%増)、セグメント利益(営業利益)は213百万円増加の264百万円(前年同期比424.9%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、24,826百万円増加の119,594百万円となりました。これは主に、プラント関連の前渡金の増加、現金及び預金の増加、売上高の増加に伴う電子記録債権等の増加があったことによるものであります。

負債合計は、23,446百万円増加の82,207百万円となりました。これは主に、借入金の減少があったものの、プラント関連の前受金の増加や仕入高の増加に伴う支払手形及び買掛金の増加があったことによるものであります。

純資産合計は、1,379百万円増加の37,386百万円となりました。これは主に、配当金の支払いや円高による為替換算調整勘定の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益2,506百万円の計上があったことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、新規連結に伴う増加額315百万円を合わせて、前連結会計年度末に比べ、3,420百万円増加し、22,374百万円（前年同期比5,610百万円増）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前渡金の増加やたな卸資産の増加があったものの、税金等調整前四半期純利益4,009百万円の計上に加えて、前受金の増加や仕入債務の増加があったことなどにより、7,063百万円の増加（前年同期比3,875百万円増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得支出や無形固定資産の取得支出があったことなどにより、828百万円の減少（前年同期比235百万円減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いがあったことなどにより、2,752百万円の減少（前年同期比1,899百万円減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年9月26日に公表した内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したDJK GLOBAL MEXICO, S.A. DE C.V.を連結の範囲に含めております。また、当第3四半期連結会計期間より、平成28年11月にタイに設立したDAIICHI PROJECT SERVICE CO., LTD.を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,137	22,541
受取手形及び売掛金	36,295	36,046
電子記録債権	1,285	2,668
商品及び製品	7,136	7,936
仕掛品	813	1,402
原材料及び貯蔵品	608	666
前渡金	10,523	26,729
繰延税金資産	566	450
その他	2,824	5,015
貸倒引当金	△314	△240
流動資産合計	78,876	103,216
固定資産		
有形固定資産	2,975	3,236
無形固定資産	2,923	2,752
投資その他の資産		
投資有価証券	8,055	8,428
退職給付に係る資産	868	862
その他	1,696	1,717
貸倒引当金	△627	△620
投資その他の資産合計	9,992	10,387
固定資産合計	15,891	16,377
資産合計	94,767	119,594
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,751	39,208
短期借入金	8,825	7,594
未払法人税等	909	742
前受金	13,507	28,889
引当金	1,221	840
その他	1,288	1,826
流動負債合計	55,503	79,102
固定負債		
長期借入金	1,850	1,502
繰延税金負債	651	774
引当金	16	16
退職給付に係る負債	301	325
その他	438	485
固定負債合計	3,257	3,105
負債合計	58,761	82,207

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,105	5,105
資本剰余金	3,786	3,786
利益剰余金	25,935	27,691
自己株式	△767	△982
株主資本合計	34,059	35,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,311	1,704
繰延ヘッジ損益	4	△23
為替換算調整勘定	740	163
退職給付に係る調整累計額	△193	△160
その他の包括利益累計額合計	1,861	1,683
新株予約権	76	90
非支配株主持分	8	11
純資産合計	36,006	37,386
負債純資産合計	94,767	119,594



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	84,458	116,104
売上原価	71,677	101,075
売上総利益	12,780	15,029
販売費及び一般管理費	10,736	10,908
営業利益	2,044	4,120
営業外収益		
受取利息	24	25
受取配当金	124	125
仕入割引	123	163
持分法による投資利益	50	85
その他	120	135
営業外収益合計	444	535
営業外費用		
支払利息	71	68
為替差損	12	257
支払手数料	43	61
その他	36	21
営業外費用合計	165	409
経常利益	2,323	4,247
特別利益		
固定資産売却益	46	1
投資有価証券売却益	—	23
その他	0	8
特別利益合計	46	34
特別損失		
固定資産売却損	1	3
固定資産除却損	13	8
減損損失	54	—
関係会社株式評価損	—	259
その他	7	0
特別損失合計	77	272
税金等調整前四半期純利益	2,292	4,009
法人税、住民税及び事業税	622	1,424
法人税等調整額	321	78
法人税等合計	944	1,502
四半期純利益	1,348	2,506
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,347	2,506

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,348	2,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76	393
繰延ヘッジ損益	91	△28
為替換算調整勘定	△298	△528
退職給付に係る調整額	33	33
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△49
その他の包括利益合計	△100	△178
四半期包括利益	1,248	2,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,247	2,327
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)		
	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,292	4,009
減価償却費	663	633
株式報酬費用	15	26
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△41	△70
引当金の増減額(△は減少)	110	△374
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△206	5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13	23
受取利息及び受取配当金	△149	△151
支払利息	71	68
持分法による投資損益(△は益)	△50	△85
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△23
関係会社株式評価損	-	259
固定資産除売却損益(△は益)	△30	10
売上債権の増減額(△は増加)	5,288	△1,458
前渡金の増減額(△は増加)	△2,159	△16,089
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,174	△1,572
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,257	△1,968
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,695	9,718
前受金の増減額(△は減少)	1,128	15,104
その他の流動負債の増減額(△は減少)	456	589
その他	△127	△32
小計	4,663	8,624
利息及び配当金の受取額	155	162
利息の支払額	△71	△69
法人税等の支払額	△1,558	△1,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,188	7,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△58	17
有形固定資産の取得による支出	△478	△486
有形固定資産の売却による収入	200	2
無形固定資産の取得による支出	△494	△252
投資有価証券の取得による支出	△16	△136
投資有価証券の売却による収入	-	30
貸付けによる支出	△11	△3
貸付金の回収による収入	89	5
その他	177	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△592	△828

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	329	△1,196
長期借入金の返済による支出	△347	△347
自己株式の取得による支出	△25	△270
ストックオプションの行使による収入	68	40
配当金の支払額	△859	△964
その他	△19	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△852	△2,752
現金及び現金同等物に係る換算差額	△213	△378
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,528	3,104
現金及び現金同等物の期首残高	15,234	18,953
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	315
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,763	22,374

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	プラント・ エネルギー 事業	産業機械 事業	エレクトロ ニクス 事業	ファーマ 事業	航空事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	19,391	29,346	29,461	4,415	1,577	84,193	265	84,458	—	84,458
セグメント間の内部 売上高又は振替高	363	353	157	514	—	1,388	82	1,470	△1,470	—
計	19,755	29,700	29,618	4,930	1,577	85,581	347	85,928	△1,470	84,458
セグメント利益又は 損失(△)	△296	814	932	523	50	2,023	△81	1,941	102	2,044

注1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額102百万円には、セグメント間取引消去37百万円、たな卸資産の調整額47百万円およびその他の調整額18百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	プラント・ エネルギー 事業	産業機械 事業	エレクトロ ニクス 事業	ファーマ 事業	航空事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	37,254	31,653	37,996	6,336	2,735	115,975	128	116,104	—	116,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	348	273	555	647	—	1,824	23	1,847	△1,847	—
計	37,602	31,927	38,551	6,983	2,735	117,800	151	117,952	△1,847	116,104
セグメント利益又は 損失(△)	885	897	1,342	576	264	3,966	△36	3,930	190	4,120

注1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額190百万円には、セグメント間取引消去178百万円、たな卸資産の調整額7百万円およびその他の調整額4百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。